

『熊谷の子どもたちは、これができます!』

#### 4つの真諦 アクセル

- ①朝ごはんをしっかりと食べる。
- ②呼ばれたら「はい」と元気よく返事をする。
- ③「ありがとう」「ごめんなさい」と言う。
- ④友だちをたくさんつくる。

#### 3減運動 ブレーキ

- ①テレビの時間を減らします。
- ②ゲームの時間を減らします。
- ③携帯電話やパソコンに触れる時間を減らします。

## 別府小だより

No. 2

令和5年4月28日

学校教育目標

高い目標と自律、共生の心を持った児童の育成

進んで学習する子 他人を思いやる子 体力・活力のある子



### 心と心のつながりを大切に

熊谷市立別府小学校長 安藤 咲恵

桜若葉がみずみずしい季節となりました。1年生は、初めての学校生活に目を輝かせながら、何事にも一生懸命取り組んでいます。2年生以上の子供たち一人一人も、それぞれの新年度を迎え、新しい友達、そして先生方と頑張ろうとしている様子が見られます。

別府小学校の新年度は、さらに明るさが増したようで、ついこちらにも笑顔になります。引き続き、「Smile」(笑顔であいさつ)、「Speed」(素早く実行)、「Spirit」(やる気)の3Sを合言葉に、教職員一同、すべての子供たちの健やかな成長を目指し、取り組んでまいります。

さて、私が、別府小学校に着任してから、一か月が経ちましたが、その間に感じた別府小学校の素晴らしいところを紹介します。

それは、「あいさつができる」ということです。私が、登校時正門に立っていると、目を見てあいさつをしてくれる児童、ちょっと恥ずかしいけれど、頑張っって声を出してあいさつをしてくれる児童、様々です。いずれにしてもあいさつをしてくれると、「今日も一日頑張るぞ。」とやる気がわいてきます。また自分の存在を認めてもらっている気持ちになります。あいさつは、相手がいることがわかったから声をかけようと思っってすることです。あいさつをされると、「私のことに気づいてくれたのだ。」とうれしくなります。あいさつは、自分を認めてくれたという気持ちにさせてくれます。

あいさつを漢字で書くと「挨拶」と書きます。「挨拶」の「挨」は「自分の心を開く」、「拶」は「相手の心に近づく」という意味があるそうです。つまり、あいさつをするということは、「自分の心を開き、相手を認め、相手の心に近づく」ということです。新しい環境の中、友達同士も積極的にあいさつをすることで、いい友達関係を作っっていけるようにしたいものです。

4月の生活目標は、「あいさつ、返事をしっかりしよう」と「くつをそろえよう」でした。「くつをそろえる」で思い出されるのが、長野県円福寺の藤本幸那住職が作った次の詩です。

#### はきものをそろえる

《6年生の靴箱です。そろっています。さすがです。》

はきものをそろえると 心もそろう  
心がそろうと はきものもそろう  
ぬぐとときに そろえておくと  
はくとときに 心がみだれない  
だれかが みだしておいたら  
だまってそろえて おいてあげよう  
そうすればきっと 世界中の人の心も そろうでしょう



かかとのそろった靴を見ると、どのような気持ちになるでしょう。靴の持ち主は、落ち着いた穏やかな気持ちだということが伝わってきます。もしかしたら、心が乱れていて、靴をそろえることができない人がいるかもしれません。そんなときは「だまってそろえてあげる」のです。靴をそろえてもらった人は、気がつかないうちに、心が穏やかになっていくのかもしれません。落ち着いた穏やかな気持ちで物事に取り組めば、いろいろなことができるようになってゆくことでしょう。

あいさつをすると、心が近づくきっかけとなり、はきものをそろえると、人の心を感じるようになります。これからも、別府小学校にかかわる皆さんが、心と心のつながりを大切にしつづけることができると願っています。